

# 2017-18年度ライオン誌日本語版委員会 第7回会議 報告書

日 時：2018年2月7日(水) 13:30～16:00

場 所：一般社団法人 日本ライオンズ 事務所

出席者：国際理事 中村 泰久 (埼玉県・大宮北ライオンズクラブ)  
国際理事 佐藤 義雄 (長野県・戸倉上山田ライオンズクラブ)  
委員長 佐々木忠康 (331複合地区／北海道・小樽ライオンズクラブ)  
編集長 矢野 敏明 (336複合地区／島根県・松江葵ライオンズクラブ)  
委員 久津間康允 (330複合地区／神奈川県・小田原白梅ライオンズクラブ)  
委員 稲岡 敬弘 (332複合地区／秋田ライオンズクラブ)  
委員 渡邊 信也 (333複合地区／新潟県・亀田ライオンズクラブ)  
委員 西川 恒彦 (334複合地区／静岡県・富士宮ライオンズクラブ)  
委員 神 崎 守 (335複合地区／京都やわたライオンズクラブ)  
委員 小柴 登司 (337複合地区／沖縄県・浦添ウエスト ライオンズクラブ)  
ITアドバイザー 荘 英 隆 (東京恵比寿ライオンズクラブ)  
欠席者：ITアドバイザー 辰巳 博昭 (兵庫県・神戸須磨ライオンズクラブ)



佐々木委員長の開会あいさつに続いて、中村、佐藤両国際理事からあいさつと国際関係の報告があった。その中で、1月に国際本部を訪問した中村理事からは、ライオン誌委員会が管理するオンライン報告システムServannAを国際協会の報告システムMyLCIへ移行する計画について、本部責任者と話し合った内容が報告された。その後、佐々木委員長、矢野編集長の進行で議事に入った。

## 【議事】

### 1. ライオン誌日本語版の運営 (別紙-月次決算報告)

12月度の収支計算書を基に会計担当者から説明があった。12月はライオンズスクール初級編の改訂を前に、注文のあった個人やクラブに発行を待って頂いていたこともあって頒布品収入が少なかった。一方、支出のうちの委員会費が通常月より多くなっているが、これは委員長、編集長が一般社団法人日本ライオンズの求めに応じて理事会に出席された費用と、昨年10月開催の公式版編集者会議に出席された編集長の旅費のうち国際本部負担分を除いた金額が含まれているため、月次では約8万円、累計では2,455,025円の収支差額が出ている。

- 国際本部に照会していた2018年以降の公式版ライオン誌への補助金について回答があり、補助金は会員一人当たり年6ドルから4ドルに減額され、四半期ごとに支払いが行われること、支払い基準となる会員数は四半期ごとの初日と末日の平均となる、との説明があった。また国際協会から配信される記事について、必須掲載、任意掲載の基準が示された。これを受け、矢野編集長から、支払い時期との兼ね合いを考慮して、次年度以降の運営シミュレーションを作ることが提案された。

### 2. 本誌関係

### ●2018年3・4月号台割

事前に配布された3・4月号校正を基に、記事の内容を検討した。特集は「視覚障害者支援」で、秋田山王ライオンズクラブのアクティビティを中心に構成し、表紙も同クラブの協力により撮影。取材には稲岡委員が立ち会った。「国際理事だより：中村泰久国際理事」、「編集室：佐々木忠康委員長」。この号から、ウェブマガジン「奉仕活動」で取材したアクティビティのダイジェスト版を本誌「SCENE」及び「クラブ・リポート」に掲載し、同時にウェブマガジンへ誘導するQRコードを記事に入れている。アガワル国際会長公式訪問は会長のスピーチを採録、OSEAL調整事務局の開局式はその後の1ページで取り上げる。

### ●2018年5・6月号台割案

本誌5・6月号特集は「聴覚障害者支援」で、静岡県・富士宮ライオンズクラブが実施した聴覚障害・啓発講演会「手話は言語」の内容を基調原稿とし、カット写真にはこれまで取材した聴覚障害者関連事業の写真を使用する。また表紙は同クラブに所属する西川委員に設営して頂き、手話で会話をする聴覚障害者と小学生を撮影させて頂いた。「国際理事だより：佐藤義雄国際理事」、「編集室：久津間康允委員」。国際協会から必須掲載として配信があったLCIF年次報告は、この号に掲載する。

中村国際理事から3件の取材依頼があり、以下のように対応する。

①2月8日の第3回GAT会議は西川委員が取材を担当する。

②2月10日に開催されるスペシャルオリックス2018愛知のユニファイドリレー・トーチラン採火式・分火式も西川委員が担当し、取材は334複合地区または334-A地区のPR委員会に委託する。

③3月6～7日に開催されるLCIF大型キャンペーンに関するOSEAL内会議は佐々木委員長が担当する。

## 3. ウェブマガジン関係

### ●2018年2月号（2月1日更新）出来

2月1日更新のウェブマガジン2月号の出来について各委員が意見を出し合った。まず第一に、まだまだウェブマガジンの認知度が低く、アクセス数を上げ多くの会員に利用してもらえるような方策を考えることが先決との意見があった。これについては、各地区キャビネットからクラブ宛てに更新情報を知らせるメールを配信するだけでなく、それぞれの委員があらゆる機会を使って広報する他、本誌にQRコードを入れるなど、さまざまな方法で認知度を上げていく努力を続けることが確認された。また、ウェブマガジンのコンテンツがアクティビティ中心のため、記事が同じような流れになりがちになっており、周辺取材なども含め、出来るだけバリエーションのある原稿を心がけていく必要があるとの指摘があった。この他、トップページの見せ方や、アクティビティの告知欄の設置などについて提案があった。

Wordpressでのウェブマガジン構築は、発注時のコンテンツの組み込みが完了し、来週にかけて仕様の説明や更新に関するレクチャーを受けることになっている。一方、Wordpressのためにサーバーのデータベースをアップグレードしたことにより、「ライオン誌出版物注文フォーム」と「読者プレゼント応募フォーム」が正常に動作しなくなり、現在、プログラムを抜本的に書き換えている。そのため前回会議で作成が決まった「アクティビティ投稿フォーム」の作業が一時中断していることが報告された。

### ●2018年3月号以降台割案

ウェブマガジン3月号から5月号までの主要コンテンツについて、内容と取材経費が提出さ

れ、承認された。

#### 4. 2017-18年度主要記事予定

ウェブマガジン3月号以降及び本誌5・6月号以降の主要記事予定と、2月下旬から4月初旬までの取材経費概算が提出され、検討の上これを承認した。

#### 5. その他

- 本誌の個人宛て発送を委託している業者から、郵送料改訂の案内があった。現在、個人発送については、委託先の業者がライオン誌も含め取り扱っている郵便物の量を元に郵便局と交渉し通常の料金よりも大幅に安価な金額（一部62円）で発送している。この料金が昨年50銭値上げされ、この分については業者がかぶってくれていたが、今年4月から更に1円50銭値上げされることになり、前年分と合わせて2円分の値上げを了解してほしい旨の説明があった。郵便料金の値上げのため致し方ないものとして承諾するが、各クラブに対しては、昨年、クラブ一括発送の宅配料金の値上げがあった際と同様、値上げについて丁寧に説明することとする。また、下半期送料については既に請求済みであり、4月20日発行の5・6月号及び6月20日発行の7・8月号分の送料差額（各総額約12万円）はライオン誌の経費で負担する。

閉会あいさつ 佐々木忠康委員長

#### 【次回以降委員会開催予定】

3月7日(水)	13:30~16:00	第8回会議	日本ライオンズ事務所
4月4日(水)	13:30~16:00	第9回会議	日本ライオンズ事務所

ライオン誌日本語版  
2017-18年度収支計算書

2017年12月

(収入の部)

科 目		予 算 額	当 月 執 行 額	累 計 額	残 高	摘 要
項 目						
購読料収入		104,775,000	9,567,482	56,823,941	47,951,059	
	国際協会補助金	48,825,000	4,905,582	29,433,491	19,391,509	
	会 費	55,800,000	4,544,300	27,265,800	28,534,200	
	翻訳料補助金	150,000	117,600	124,650	25,350	上期指定記事翻訳料として¥135,000をLCIへ請求、¥117,600入金
ライオン誌送料		37,000,000	4,151,243	24,907,458	12,092,542	
広告料収入				85,536	△ 85,536	
その他収入		1,450,000	15,350	786,137	663,863	
	頒布品収支差額	1,000,000	11,410	258,809	741,191	初級編在庫切れ。2018年1月発行予定
	受取利息					
	雑収入	450,000	3,940	527,328	△ 77,328	
特別収入						
合 計		143,225,000	13,734,075	82,603,072	60,621,928	

## (支出の部)

科	目	予 算 額	当 月 執 行 額	累 計 額	残 高	摘 要					
	項 目										
直	接 出 版 費	79,700,000	8,375,278	52,901,146	26,798,854						
	印 刷 費	25,000,000	2,577,553	16,496,069	8,503,931	注1					
	送 送 事 務 費	10,250,000	1,058,761	6,520,616	3,729,384	注2					
	ライオン誌送料	37,000,000	4,254,391	25,207,980	11,792,020	注3					
	旅 費 交 通 費	3,500,000	192,338	2,394,740	1,105,260						
	編 集 関 係 諸 費	200,000	7,115	176,181	23,819						
	原 稿 料 ・ 編 集 費	3,750,000	285,120	2,105,560	1,644,440						
	広 告 関 係 諸 費										
	そ の 他										
テ	レ	シ	ン	タ	ル	版 関 連 費	9,600,000	565,707	1,290,001	8,309,999	
	旅 費 交 通 費	2,000,000	447,339	511,195	1,488,805						
	原 稿 料 ・ 編 集 費	7,000,000			7,000,000						
	サ	ー	ハ	ッ	ク	使 用 費	600,000	69,768	418,608	181,392	
	そ の 他		48,600	360,198	△ 360,198	SDカード3、マイクSDカード1、動画用マイク2					
委	員 会 費	4,650,000	454,158	1,848,840	2,801,160						
	旅 費 交 通 費	4,500,000	449,307	1,833,637	2,666,363	注4					
	会 議 費										
	統 合 関 連 費										
	雑 費	150,000	4,851	15,203	134,797						
事	務 費	48,815,000	4,259,363	24,108,060	24,706,940						
	人 件 費	30,000,000	2,498,169	14,989,014	15,010,986						
	福 利 厚 生 費	5,150,000	772,830	2,614,355	2,535,645	11月、12月分社会保険料					
	旅 費 交 通 費	1,250,000	103,568	622,338	627,662						
	通 信 費	1,350,000	62,208	636,314	713,686						
	事 務 用 品 費	600,000	21,500	302,130	297,870						
	図 書 費			1,836	△ 1,836						
	備 品 ・ 消 耗 品 費	50,000	3,030	32,348	17,652						
	I T 関 連 費	1,800,000	111,888	779,328	1,020,672						
	支 払 手 数 料	65,000	3,294	24,400	40,600						
	保 守 ・ 修 繕 費										
	借 室 料	7,500,000	624,056	3,744,336	3,755,664						
	水 道 光 熱 料	400,000	30,200	188,386	211,614						
	租 税 公 課	50,000			50,000						
	減 価 償 却 費	250,000			250,000						
	雑 費	350,000	28,620	173,275	176,725						
	固 定 資 産 廃 棄 損										
	( 収 入 ) - ( 支 出 )	460,000			460,000						
	当 期 収 支 差 額 金		79,569	2,455,025	△ 2,455,025						
	合 計	143,225,000	13,734,075	82,603,072	60,621,928						

注1 1・2月号93,600部発行。@25.5。同号から共同印刷に変更

注2 1・2月号発送手数 個人発送(1979クラブ・60,247冊)662,620円  
クラブ発送(1072クラブ・32,226冊)319,500円

1・2月号掲載誌、有料誌、PR誌送料送料及び発送手数料他、76,641円

注3 1・2月号送料：個人発送@62×60,247人=3,735,314円、クラブ発送(1072件)519,077円

注4 12/47ｲﾝﾀﾞﾙ誌委員会8人260,440円、12/7社団理事会2人117,620円、ﾌﾞﾗｯｸ編集者会議経費71,247円(経費合計198,010円-本部負担分126,769円)